

2014年8月1日に富士山周辺で発生した雷雲時の誘導雷について  
Measurement of surge current associated with lightning activity around Mt. Fuji on August 1, 2014

大島 燦<sup>1\*</sup>; 安本 勝<sup>2</sup>; 鴨川 仁<sup>1</sup>  
OHSHIMA, Satoshi<sup>1\*</sup>; YASUMOTO, Masaru<sup>2</sup>; KAMOGAWA, Masashi<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東京学芸大学物理学科, <sup>2</sup> アンテック  
<sup>1</sup>Dpt. of Phys., Tokyo Gakugei Univ., <sup>2</sup>ANTEC

落雷現象の観測手段として、富士山測候所と山麓を繋ぐ接地線に流れる雷電流を、ログスキーコイルにより測定した。測定期間は7月20日～8月19日であった。観測波形の記録は、一昨年 of 前回手動であったが、今回自動で行った。一昨年と同様に今回も直撃雷による電流は無く観測できなかったが、富士山測候所周辺の落雷現象による電流を観測した。100 A を超えるパルスが観測され、また、その観測時間帯は大気電場にも相関があり、本測定が有効な落雷観測手段であることが示された。

キーワード: サージ電流, 大気電場, 富士山, 雷  
Keywords: Surge current, Atmospheric electric field, Mt. Fuji, Lightning